

平成13年 4月13日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

「国境を越えるエンジニア」
技術系学生のアジア海外研修プログラム

このことについて、下記のより記者発表を行いますので、取材をお願いします。

記

日時 平成13年6月14日(木)13:30～14:00
場所 事務局4F会議室

【お問い合わせ先】
広島大学大学院工学研究科
教授 茂里一紘
TEL:(0824)24-7780
(ダイヤルイン)

[発信枚数;A4版 4枚(本票含む)]

○[趣意書](#)

「国境を越えるエンジニア」

技術系学生のアジア海外研修プログラム

—アジア海外研修による高い国際認識と倫理意識をもった技術者養成のために—

1. プログラムとその目的

アジアの抱える課題あるいは先進的事例に関心を持つ技術系学生を、毎年数名アジアの企業、工場、事業所、国際機関などに派遣し、技術者としての高い倫理を持った21世紀の技術を担う次世代技術者を養成する。プログラムに参加することにより、国境を越えて活躍できるグローバルな技術者、すなわち「国境を越えるエンジニア」として成長する機会とする。

参加した学生の研修経験をより実効性の高いものとし、参加しなかった学生への課題意識の喚起もはかるため、十分な事前学習をするとともに、本学カリキュラムの「技術移転特論」(工学研究科)、「インターンシップ」(国際協力研究科)および「技術の新視点」(工学部)などの中で事後のフォローアップ教育を実施する。

2. 将来展開

目的にうたった教育効果を確認しながら、「国境を越えるエンジニア」育成のための「アジア地域インターンシップ事業」として、広島県地域における技術者教育と産業の特色とする。

3. 実施部局および運営

広島大学工学部、工学研究科、国際協力研究科、先端物質科学研究科を中心に実施し、広島大学海外研修プログラム実行委員会を設け、研修機関との交渉、派遣学生の選考、事前・事後教育、報告討論会などの実施にあたる。

委員会は以下の委員で構成する。

吉田総仁(工学部)、中村信人(工学部)、山下英生(工学部)、榎岡弘勝(工学部)、小瀬邦治(工学部)、福岡提二(工学部)、茂里一紘(工学部)*、山田隆(先端研)、斉藤公男(国際協力研究科)、藤原章正(国際協力研究科)

*: 実行委員会代表

4. プログラムの内容

1) 対象学生

- ・広島大学の技術系学生を対象とし、学部3年生および大学院修士課程1年生を主とする。
- ・選考方法: アジアにおける技術ないしはアジアの課題に関する論文、および現在取り組んでいる研究の発表を中心に書類審査および面接により選考する。実行委員会が選考する。

2) 研修内容

研修機関の現場で、補助的役割ではあるが一定の責任をもちつつ、業務ないしは課題を遂行する。業務や課題の内容は受入機関と個別に協議して定める。研修生は、事前・事後教育を受け、スムーズなプロジェクトの遂行を図るとともに、成果をより確実なものとする。

・事前教育: 研修前に広島大学において実施

- 本プロジェクトの趣旨の理解と準備教育。
- 国際環境、研修実施国の国情、経済、市民生活などに関する一般的教育。
- 研修課題の確認。

・研修

- 研修機関で与えられた業務ないしは課題を遂行する。
- 研究機関で与えられた業務ないしは課題に対する報告書を作成し、研修終了時、研修機関および広島大学に提出する。

・研修中の任務

—研修として遂行している業務や研修機関全般などについて、研修機関にとって有益と思われる改善事項を考える。研修終了時、「改善提言」として研修機関および広島大学に提出する。

・事後教育

- 社会環境システム専攻「技術移転特論」などで実施。
- 事後教育は研修に参加しなかった学生も交えて発表・討論によって行う。
- 日本(広島大学)の技術教育に関する改善課題と改善方法をまとめ、広島大学に提出する。それをもとに討論する。
- 関係者を含めた討論をもとに、既に提出した「改善提言」に対する具体的改善方法をまとめ、研修機関に届ける。

・総括報告会

- 研修と事後教育の成果などを発表し、報告書を作成する。

3) 研修実施時期および期間

- ・8～9月の夏期休暇中に実施。30～40日間程度。

4) 必要経費

・研修に必要な経費は、プロジェクト経費として支給する。研修機関から、宿舍の提供など、部分的な援助・供与が可能であれば期待する。

5.2001年の実施計画および日程

1)実施内容

・5名程度を派遣。

・派遣先:タイ・AAT(Auto Alliance Thailand)、マレーシア・FMS audioなどを研修候補機関として交渉中。

2)日程

・5月下旬:現地訪問調査と研修機関の確定

・6月上旬:研修希望学生の募集(1ヶ月)

・7月上旬:研修生の選考

・7月上旬～8月中旬:事前教育の実施

・8月下旬～9月末:研修実施

・10月～11月末:事後教育

・12月中旬:報告会

・2月 報告書の発行